



別れのことば 本田さん

## 第40回卒業証書授与式を挙行了しました

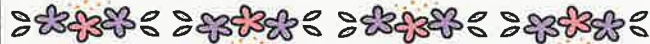
校長 島津 芳久

3月15日、119名の卒業生を送り出しました。

式辞として、「何事にも一生懸命」という言葉を紹介しました。どんなことでも、一生懸命にやっていると、まず自分が成長します。また、自分の人としての資質が磨かれていきます。そして、周りの人の見る目が変わってきます。それによって、チャンスが広がっていきます。

卒業生の将来が輝かしいものとなることを祈念したいと思います。

また、1・2年生の皆さん、卒業式の準備ありがとうございました。とても温かな雰囲気  
の会場を造ってくれました。さらに、5年ぶりに全校生徒で合唱した「旅立ちの日」は素晴らしい  
歌声でした。3年生への感謝の気持ちが十分に伝わったと思います。



### ★令和5年度埼玉県児童・生徒表彰 3年 本田さん

埼玉県教育委員会より学業や運動、特別活動などで他の模範となった生徒に贈られます。

### ★令和5年度埼玉県体育優良児童・生徒表彰 3年 齋藤さん、寺島さん

埼玉県体育協会より体育活動などで他の模範となった生徒に贈られます。

### ★令和5年度埼玉県産業教育振興会小中学校優良卒業生表彰 3年 長屋さん

埼玉県産業教育振興会より勤労の精神を理解し、他の模範となった卒業生に贈られます。

### ★令和5年度日高市教育委員会表彰

日高市教育委員会より今年度の様々な活動で優秀な成績を収めた生徒に贈られます。

3年 齋藤さん 松永さん 田中さん 2年 篠原さん

### ◎第48回かわせみマラソン大会

5 Km 一般女子 第4位 萩原さん

5 Km 中学生男子 第1位 室越さん 第4位 鈴木さん

市内からたくさんの中学生在ボランティアとして大会運営に協力しました。



○校長より 今年度も高萩北中へのご支援、ご協力大変ありがとうございました。

裏面に学校評価を掲載します。来年度も引き続き、よろしくお願いいたします。

# 令和5年度 学校自己評価システムシート

## 未来を創造する力を育む学校

### 1 開かれた学校づくり 2 確かな学力の向上 3 豊かな心の育成 4 健やかな体を育む環境整備 5 教職員の資質向上

年度		目標		評価指標		達成状況		年度評価 (令和6年1月25日現在)		学校運営協議会での評価		「学校運営協議会での評価」を受けて	
評価項目	具体的方策	指標	A+Bの割合	職員	保護者	達成度		次年度への課題		学校運営協議会での評価		「学校運営協議会での評価」を受けて	
						職員	保護者	達成度	改善していただく方向性	実施日	令和6年2月29日	学校運営協議会の委員からの意見・要望・評価等	「学校運営協議会での評価」を受けて
組織運営の五実の(小中一貫の)視点	・職員会議資料に学校教育目標の一貫した方向性を掲げた上で、一人見捨てない姿勢を貫き、いじめを予防している。	1 学校教育目標「自立・創造・貢献」を目指して努力している	100%	96%		・学校行事では、生徒による実行委員会を組織し、生徒が主体となって活躍する場面を意図的に設けることで就職意を伸ばされた。 ・アンケートや二者、三者相談等を通じていじめの予防ができた。	A	・学校目標が学校教育目標との関連を考慮して立てられているので、生徒にアンケートをとるなど目標が達成できているかを確認する機会を作る。 ・必要に応じて色々な方法で対応しているが、ゼロになるよう努力をお願いしたい。 ・交通係委員、民生委員との積極的な連携を密にし、子どもが小さな変化の発見に繋げる。小室校にならないために早い段階で面談を行えるようにしたい。	・「次年度の課題と改善策」に係る変更点や追加事項等(変更点や追加事項等がない場合は空欄)	・いじめの予防、早期発見のためにも、学校運営協議会委員、民生委員など地域の方との情報共有をより密にする。 ・より早い段階での生徒理解のために1学期に2者面談を実施する。			
		2 いじめの予防や改善に努め、生徒にとっても楽しく通える学校にしている	100%	90%									
基礎学力の定着	・協同的な学びや協同学習を手法の一つとして取り入れ、全ての生徒の学びを促す。 ・生徒の意識を高め、グループワークなどを有効活用して学力を伸ばす。	3 学習内容が身に付くよう「わかる授業」をしている	81%	89%		・必要に応じてICT機器を活用しながら「分かる授業」の実践に努めることができた。 ・授業外の学習につながるよう、学習内容を振り返って指導しようとしたが、家庭での学習習慣を定着させるには至らなかった。	B	・タブレットを活用して多様な学びができていてとても良い。 ・家庭学習については、時間を決めてワークを宿題に出してほしい。 ・家庭学習は各家庭の状況もあるため、個別面談もあるが、面に応じて指導も大切だと思ふ。	・生徒が学ぶことを好きにさせる手立てを協議する。生徒への物理的支援づけが分かる授業となら、家庭での自主的な学習にもつながる。 ・授業の中で全体への指導と同時に個々に応じた指導にもこれまで以上に取り組んでいく。				
		4 生徒に家庭学習の習慣が身につくよう具体的な指導をしている	52%	70%									
保護者や地域との連携(コミュニケーション・スクールの視点)	・教育活動の様子を積極的に発信し、学校側の教育内容を外に開く。 ・学校への要望や意見に迅速に対応する。	5 学校により、小中一貫など教育活動を伝えている	86%	97%		・毎月発行する学校よりでは、生徒の活躍を中心に中学校に関わる事例を広く掲載してきた。 ・三者相談や懇談会で出された課題を、学年、学校全体で共有し対応する体制を作ることができた。	A	・生徒の活動の様子がよく分かる学校だよりを今後毎月発行していく。 ・学校運営システムが活用できていてとても良い。さらに活用してペーパーレス化していきたい。 ・児童生徒に「生きる力」を育むには保護者、地域住民、学校の三者が協力、連携し取り組むことが大切と考える。	・令和7年度の小中一貫に向け、小中学校の交流の機会や合同研修会の実施を予定し、積極的な連携を図る。 ・地域の力を借り、学校の教育活動に貢献する。				
		6 保護者や地域の期待や要望に耳を傾け、改善しようとしている	90%	91%									
社会性・人間性の育成	・道徳授業、学級を通して学級活動の充実を図る。 ・委員会活動、部活動の成果が期待される行事を実施する。	7 あいさつ・言葉遣い・決まりを守るなど、規律ある態度の育成をしている	90%	93%		・教員が最大の教育環境であることを自覚し、率先垂範することを目指している。 ・研修を通して特別の教育活動の時間の充実を図り、生徒の心の育成に努めた。	A	・道徳推進教員を中心に、道徳教育をさらに充実させる。 ・行事の内容に生徒が自分たちで企画・運営出来る部分を増やし、実行委員会を中心とした生徒の自主的な活動を促していく。	・行事を増やすことは良い面もあるが、今ある行事を小中学校とも協議して行うことによる体制となるよう一斉に各行事を工夫する。				
		8 行事の内容や実施方法を工夫し、心の育成をしている	90%	95%									
安心安全な教育環境	・地域の組織と連携して計画的に環境整備を進める。 ・委員会活動、清掃活動を充実させ、きれいな学校づくりを目指す。	9 花壇プロジェクトなど緑化を行い、潤いのある環境づくりをしている	86%	97%		・花壇プロジェクトは計画通りに実施できたが、地域清掃は回の実施となく、地域の方にお願いしていただいている。潤いのある環境づくりを推進している。委員会活動での水やりは、年間で行うことが多かった。 ・改善後の授業について、美しいまま使用できるように清掃方法や用具を選定した。	A	・花壇プロジェクトや地域清掃活動を週1回、子どもたち自身で育てていく。 ・清掃活動については、小中一貫の現場を同じやり方で取り組むよう10月、小中合同研修会等ですりあわせの機会を設定する。	・地域清掃などの地域の方と協力して行う行事を小中学校とも協議して行うことによる体制となるよう一斉に各行事を工夫する。 ・心の育成をより重視して、連携を強化させる。				
		10 清掃活動を充実させ、学校の清潔さを保っている	90%	98%									

※達成度：「A」はほぼ達成(評価結果の全てが8割以上)、「B」は達成(評価結果の全てが6割以上)、「C」は達成(評価結果の全てが4割以上)、「D」は未達成(評価結果の全てが4割未満)